

## ●子どもの願いにこたえる 子どものための教育を

このような教科書通りに授業がおこなわれ、評価されることになってしまったら、子どもたちが特定の“型”に押し込められてしまうのではないかととても心配です。

誘い合って展示会に行って教科書を手にとり、率直な感想・意見を教育委員会に寄せていきましょう。

- 教科書採択にあたっては、子どもたちと一緒に教科書を使う先生たちや市民の意見をしっかり聞き、それを尊重して選んでください。
- これらの教科書で、本当にいじめがなくなるのでしょうか？ 思いやりのある子が育つのでしょうか？ 上から『しっかりしなさい』『がんばりなさい』とおしつけられているようで、中学生は反発するだけではないでしょうか。
- 道徳であっても真理・真実を大切にしてほしいです。侵略戦争を賛美したり、憲法に保障された基本的人権や民主主義をないがしろにしているような教科書は、採択しないでください。
- どの教科書にも、一人の人間として成長していくために大切なことが抜けていると思います。たとえば、人権や民主主義、多様性を認め合うこと、暴力ではものごとは解決しないこと、批判的な精神をもつことなどです。
- 教科書にしぼられず、先生たちが子どもに合わせて適切な教材を使って授業できるようにしてほしいと思います。
- 子どもの心を自己評価させるのはやめてほしいです。「○○」社など、そのためのページのある教科書は採択しないでください。
- どの教科書にも問題があると思いました。子どもの心を評価することは、重大な問題です。結局、道徳を「教科」にしたことの問題をつよく感じました。道徳の「教科化」はやめてください。

# 中学校「道徳」の教科書って？

来年度から中学校で使われる「特別の教科 道徳」教科書の採択に向けて、見本本の展示が始まりました。下記のように8社の教科書が発行されています（日本教科書は新規参入、他の7社は小学校の教科書も発行しています）。

中学校の「道徳」の教科書には、どんなお話が載っているのでしょうか？ 子どもの「自己評価」のページもあるようです。

みんなで見に行ってきたしかめ、意見を出しましょう。

中学校「特別の教科 道徳」教科書の発行社

発行社名	略称	発行者名	略称
日本教科書	日科	日本文教出版	日文
光村図書	光村	東京書籍	東書
学研みらい	学研	教育出版	教出
廣済堂あかつき	あかつき	学校図書	学図

(あかつきと日文は、別冊ノート付きです)

子どもと教科書全国ネット 21

## ●文章が長くて、むずかしそう……

絵本や漫画、文学作品や新聞記事、スポーツ選手のことばなどを引用して子どもたちの関心を高めようとしていたり、インターネットや SNS にかかわるトラブルの実例をあげるなど、子どもたちが勉強しやすいように工夫しているページもあります。



「『いじめ』と向き合う」【日文1年】

しかし全体としては、文部科学省が定めた 22 の「道徳の内容項目」（徳目）を子どもたちに身につけさせるために書かれたものが多く、問題を感じるものが少なくありません。下記のように、文科省の副読本などに掲載されている題材が、各社共通に使われています。

題 材 名	掲載社数	出 典
二通の手紙	8	文部科学省『私たちの道徳 中学校』
足袋の季節	8	中江由夫作『人生を考えよう』
六千人の命のビザ	6	杉原幸子著 同名書
一冊のノート	6	文部科学省『私たちの道徳 中学校』
裏庭のでできごと	6	文部省『中学校読み物資料とその利用』
言葉の向こうに	6	文部科学省『中学校道徳読み物資料集』
海と空 - 樗野の人々 -	5	文部科学省『中学校道徳 読み物資料』
銀色のシャープペンシル	5	文部省『道徳教育推進指導資料3』
卒業文集最後の二行	5	文部科学省『私たちの道徳 中学校』
ネット将棋	5	文部科学省『中学校道徳 読み物資料』
旗	5	杉みき子『小さな町の風景』より
二人の弟子	5	文部科学省『中学校道徳 読み物資料』

## ◎性的マイノリティー（LGBT）や多様性にふれたもの

- ・「だから歌い続ける」【日科2年】…性同一性障がいを扱う
- ・「ぼくの物語・あなたの物語」【光村3年】…肌の色で差別しない
- ・「ゴリラのまねをした彼女を好きになった」【日文3年】

## ●子どもたちに自己評価させるの？

「道徳」では、子どもたちの「学習状況や道徳性に係る成長の様子」を、数値ではなく文章で評価することになっています。しかし、次のように、授業へのとりくみ方や文科省が定めた 22 の徳目の到達度を段階別に自己評価させる教科書があります。

特に徳目の中には、「日本人としての自覚をもって国を愛し…」などというものもあり、外国につながる子どもたちに対する配慮が欠けています。そもそも、「自分是一つひとつの徳目をどこまで身につけているのか」を段階別にチェックさせること自体、子どもの内心の自由を侵害するものであり、大変な問題です。

【日科】 22 の徳目の達成度を学年の終わりに 4 つのレベルで評価

1レベル	意味はわかるけれど、大切さを感じない
2レベル	大切さや意味はわかるけれど、態度や行動にすることができない
3レベル	大切さや意味は理解していても、態度や行動にできる時とできない時がある
4レベル	大切さや意味は理解していて、多くの場面で態度や行動にできている

【あかつき】 授業へのとりくみ方を、1 時間ごとに 5 段階で評価

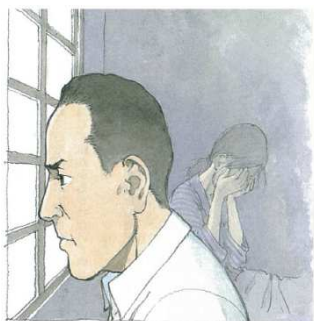
22 の徳目を、学期ごとに 5 段階で評価

【教出】 22 の徳目を、学年の終わりに 3 段階（☆心かがやき度）で評価

【日文】 授業へのとりくみ方を、1 時間ごとに 5 段階で評価

【東書】 授業へのとりくみ方を、学期ごとに 5 段階で評価

## ●人権や民主主義、平和を考える題材も



「伝えたいことがある」  
【東書3年】

差別や人権の問題、戦争と平和、環境問題など現実の社会問題をとりあげ、それを解決しようと行動する人々のとりくみやいじめ問題を扱ったもの、多様性を考えるものの中には、徳目をおしつけるためではなく、「子どもたちと一緒に読んで考えたい」と思えるものもありました。

下記は、その一部です。他にも探してみてください。

### ◎差別とのたたかい、人権を獲得するためのたたかい

- ・「いっぱい生きる全盲の中学校教師」【学研1年】
- ・「誰も知らない」【学図1年】…障がい者への差別・偏見
- ・「虹の国—ネルソン・マンデラ」【あかつき3年】
- ・「伝えたいことがある」【東書3年】…ビキニ事件

### ◎戦争と平和に関する題材

- ・「取れなかった一枚の写真」(吉田レイ子)【光村1年】
- ・「アンネのバラ」【光村2年】
- ・「ハゲワシと少女」【教出3年】
- ・「エリカ、奇跡の命」【日文3年】

### ◎いじめ問題や人とのかかわりについて考えさせる題材

- ・「わたしのせいじゃない」【東書1年】【教出2年】
- ・「君、想像したことある？」(春名風花)【あかつき2年】
- ・「あの子のランドセル」(本山理咲)【東書2年】
- ・「僕たちがしたこと」(重松清)【学図3年】

## ●「がんばれ！」って言われても……

プロ野球やJリーグ、オリンピック・パラリンピックなどで活躍したスポーツ選手が多数登場しています。また、重い障害や難病とのたたかい、人の死を扱ったものの中に、いわゆる“感動物語”が多く、「こんなに苦しい中でもがんばっている人がいるのに、あなたはどのようにがんばれないの？」というメッセージになっています。「それはわかっているけれど、そうできない時もあるんだよ」という中学生の心の葛藤にこたえることができるのでしょうか。

- ・「イチローの軌跡」【学研1年】
- ・「ぶれない心—松井秀喜」【あかつき3年】
- ・「オレは最強だ!」【日科1年】
- ・「『これ以上がんばれない』って平気な顔で言うな」【学図2年】

「日の丸」の  
写真も

## ●「正しい礼儀」?

「初めての人に会う時」「不注意で隣の家の窓ガラスを割って謝罪に行く時」「プレゼントを人からもらった時」に、「最も礼儀正しい振る舞い」と「最も無礼な振る舞い」を考えさせる(「礼儀はなぜ必要か」【日科3年】)など、ことさらに「正しい礼儀のあり方」を説く題材が目立ちます。別の教科書には、大震災の時の日本人の「礼儀正しさ」が海外のメディアから称賛された記事を集めたページ【教出3年】もあります。

「礼儀正しい日本人」という“型”に、子どもたちをはめこもうとしているのではないのでしょうか。



【あかつき別冊1年】



## ●自分を抑え、集団に尽くし従うことを教える

中学生にもなれば、自分のまわりの人との関係だけでなく、社会のあり方にも目を向けて考えることができるようになります。さまざまな困難に出会ったときにも、それを乗り越えるために原因をさぐり、まわりの人と力を合わせてよりよい社会をつくるために行動できる人になってほしいものです。

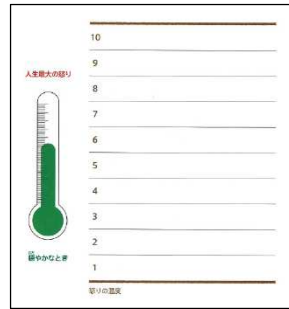
しかし「道徳」教科書には「なかなか仕事が続かなかったが、気持ちを切りかえてレジ打ちに専念し、お客様に喜ばれるようになった」（「あるレジ打ちの女性」4社）など、困難の原因の多くは自分にあるとして、“心のありよう”を変えることによって事態を改善させたという話が少なくありません。愚痴をこぼさずチームのために貢献したマネージャーを称賛する（「明かりの下の燭台」4社）など、自分の気持ちを抑えて集団のために尽くすことを求める話も目立ちます。

入園終了時刻を過ぎてから幼い姉弟を子どもだけで入園させた係が処分を受け、自ら辞職した話（「二通の手紙」8社）などのように、今ある「法やきまり」を「ひたすら守れ」と教えるものが多いことも気になります。

全体として、国家や社会に従属することを教え込むことになっていないでしょうか。

## ●「愛国心」を学ぶ…

【あかつき2年】【学図2年】には、「国旗が掲揚されるときには……起立ぐらいしたら……」という王貞治さんのエッセーをもとに、「愛国心」について学ばせる題材がありました。



怒りの温度計で感情のコントロールを学ぶ【学研2年】

## ●道徳だから事実を変えてもよい？

第二次世界大戦中、ナチスドイツからの迫害を受けたユダヤ人を助けるためにビザを発行した元リトアニア領事・杉原千畝氏を取り上げた題材が6社あります。

【学図2年】では、当時の日本がドイツと防共協定を結んでいることを上げて「ビザを出すのは難しい」と答える場面に検定意見が付き、他社と同じように、「数人分ならよいが、大勢の人たちに出すのは難しい」と修正されました。

社会科ではなく「道徳」の教科書だったら、そして「外国のために尽くした日本人がいた」ことを学ばせるためだったら、このように事実をゆがめてしまっても問題ないのでしょうか。

## ●特異な歴史観に基づくエピソード集

特に【日科】で近現代史の出来事を取り上げた題材には、侵略戦争の反省はまったく見られず、「苦しい中でもよくがんばった人たちがいた」「植民地の人たちのために尽くしたよい日本人もいた」など、歴史学習の内容とは全く異なるエピソードが多く、重大な問題です。

- ・「大地—八田與一の夢」【日科1年】
- ・「ウズベキスタンの桜」【日科2年】
- ・「白菊」【日科2年】

新潟県長岡市とハワイのホノルル市の、戦後70年の「和解」を取り上げた題材「白菊」のコラムには、安倍首相がハワイで行った演説が掲載されています。



「希望のビザ」【学図2年】

日本教科書は、侵略戦争を美化する育鵬社「歴史・公民」教科書と深いつながりのある「日本教育再生機構」の理事長らが設立した会社です。